



CONERGY

# 発電量 24 メガワット: 新安(シナン)郡 (韓国)

韓国新安郡のソーラーパークは、2008 年でアジア最大級の規模を有する太陽光発電所であり、メガソーラープロジェクトでは驚異的なサイズです。世界中のソーラーパークのなかでも Conergy で手がけた本事例に匹敵するものはほとんどありません。

## 工期を大幅に短縮

この巨大なメガソーラー発電所は、韓国の首都ソウルから南西に位置する全羅南道新安郡にあります。設置規模はサッカー場 80 面以上の広さを誇る総面積 67 万平方メートルで、年間発電量は約 35,000 メガワットアワーのクリーンな電力を生産・供給しています。これは韓国の一般家庭約 10,000 世帯分がこの発電所で生産されたクリーンエネルギーを利用することができます。それと同時にこの発電所は、年間約 25,000 トンの二酸化炭素の削減をしています。



弊社ではこのプロジェクトに 230 人の専門家を擁し、プロジェクトの規模と複雑性にもかかわらず、工事期間はわずか 14 ヶ月という記録的な早さで完了しました。これは当初の予定よりも半年も早い工期でした。




## 限界を超える

韓国での太陽光を最大限に有効活用する為に、Conergy は約 130 枚以上の太陽電池モジュールに自動追尾システムを設置いたしました。この太陽光発電所では全長およそ 426 km 以上の電源ケーブルそして重量約 3,000 トンの鉄鋼を使用して建設されました。追尾システムのプログラムが太陽の 1 日の角度に合わせて太陽電池モジュールの向きを調整します。本装置によって電力生産量が固定側のモジュールシステムと比較して 20% もエネルギーを増産しています。

## アジアでの太陽光発電の先駆け

今回の韓国でのプロジェクトは、アジア太陽光発電市場のなかで Conergy の長年にわたる成功を収めているプロジェクトの一例にすぎません。タイでは 2 カ所のメガワット級プロジェクトを約 8 ヶ月の工期で完了しました。そのうちの 1 つの発電所ではすべての部品、製品を Conergy が供給している製品群で一括納品を行いました。これは Conergy が東南アジアにおいてのコミットメントを証明するものです。さらに、インドの西にある太陽光発電所では発電所 1 基で、400 台の灌漑用揚水ポンプの稼動が可能になり、現地の数百件の農家の生計を立てる重要な基盤を提供しています。また、中東圏においては、サウジアラビアで初の最大規模の屋上型太陽光発電所を設置し、画期的なマイルストーンを築くことができました。Conergy はアジア圏内で急速に成長し、新たな太陽光発電市場において将来の重要な役割を担っております。

プロジェクトの概要		
日付	2008 年 9 月	
場所	新安(シナン)郡 (韓国)	
発電量	24 メガワット	
年間生産メガワットアワー	年間 35,000 メガワットアワー	
太陽電池モジュール	13 万枚以上 単結晶太陽電池モジュール	
パワーコンディショナー	Conergy IPG 280 K	
架台	陸上設置型	
発電所の規模	67 万平方メートル	
二酸化炭素削減量	25,000 トン/年	

